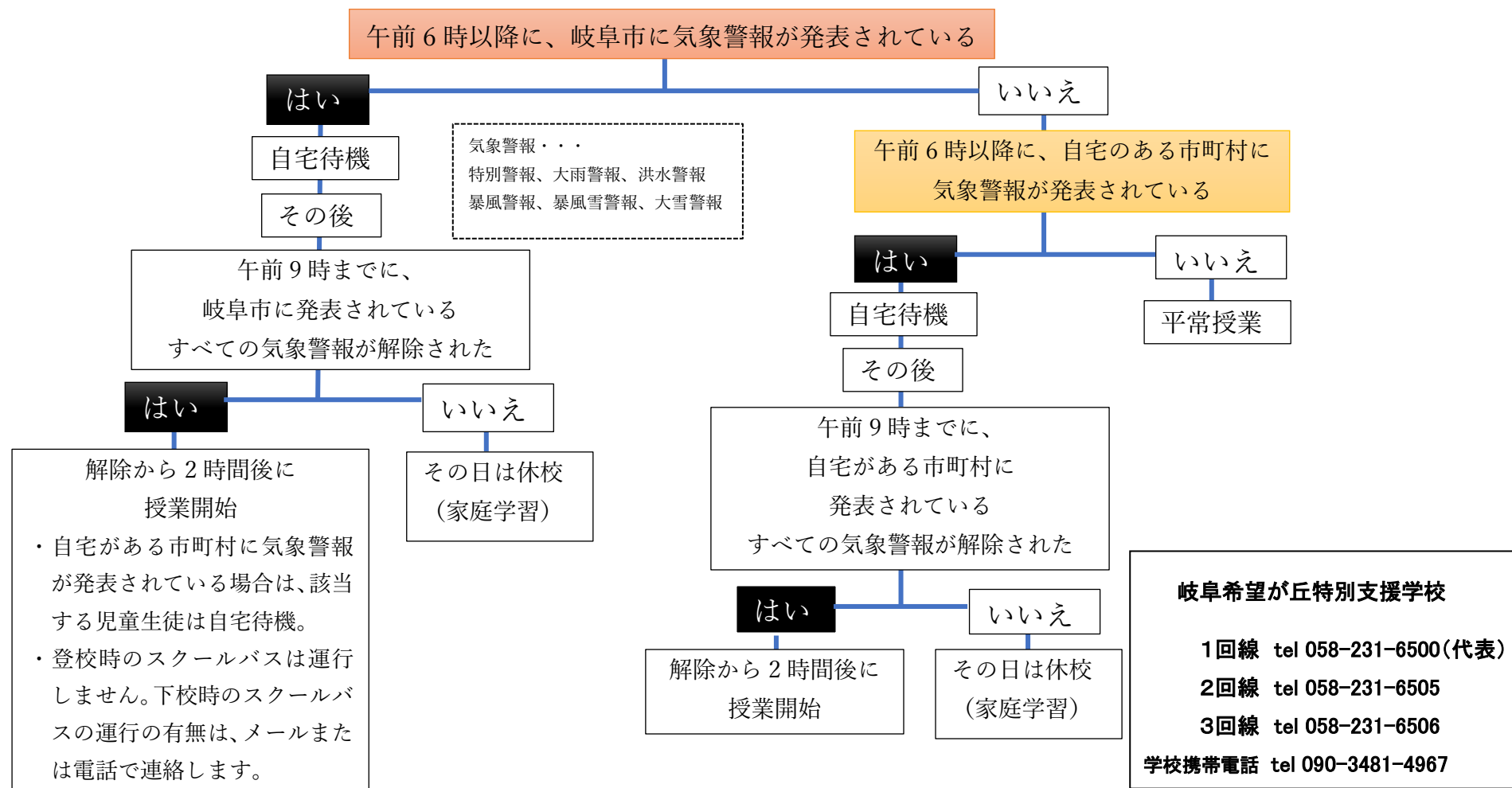


（家庭掲示用）登校前に 気象警報が発表されている場合の対応について



●在校中に気象警報が発表された場合

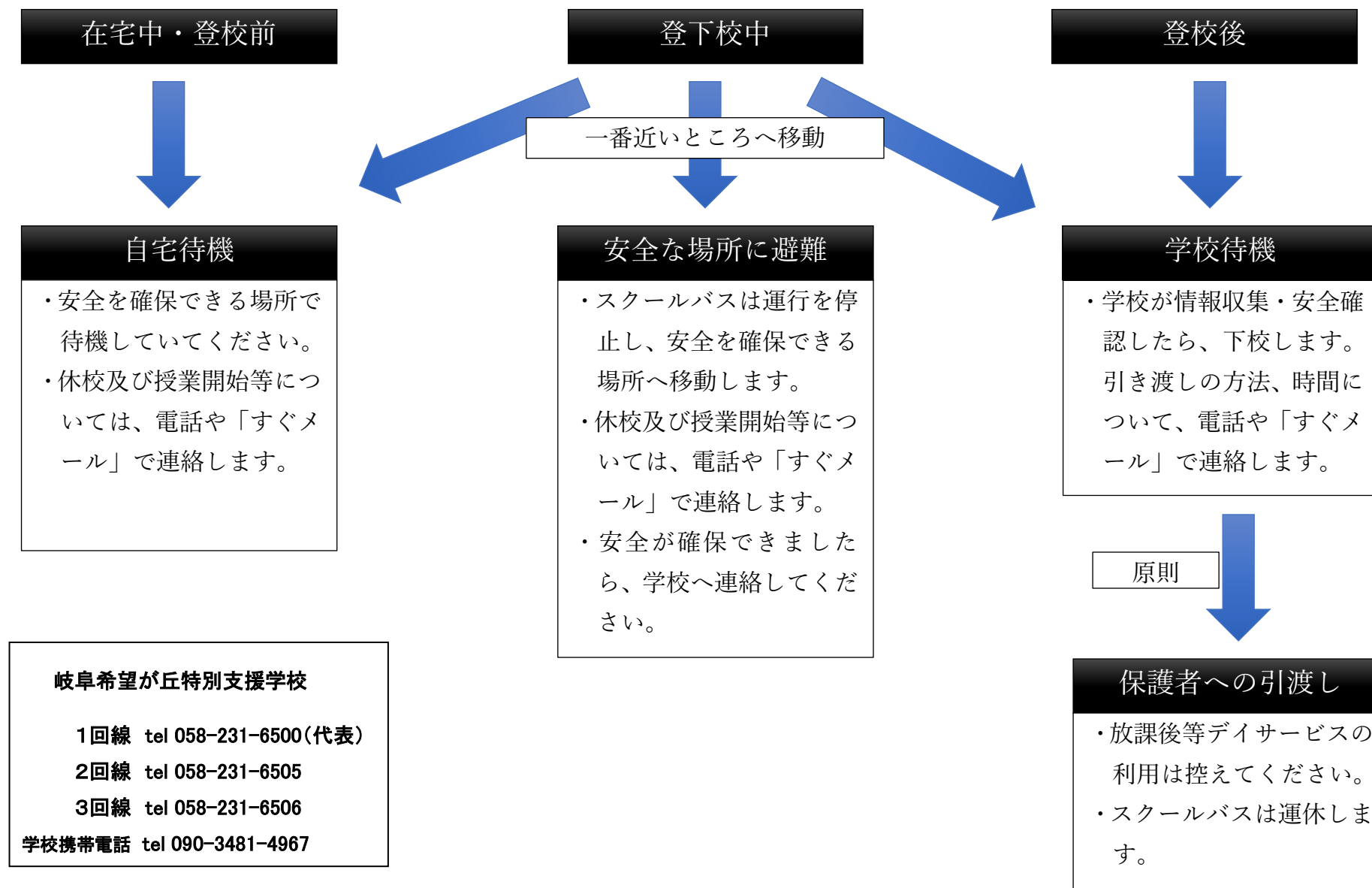
- 原則学校待機とします。 ○センター入所生はセンター待機になります。
- スクールバスは運行されません。

※学校周辺、通学経路上等の安全及び児童生徒の居住地等の安全を確認できましたら、引き渡しを行います。

●スクールバスで登校中に気象警報が発表された場合

- (1) 発表された時点で運休とします。
- (2) 発表前に乗車している児童生徒は学校に向かいます。
- (3) (2) の児童生徒は学校待機とし、学校周辺、通学経路上等の安全及び児童生徒の居住地等の安全を確認できましたら、引き渡しを行います。

(家庭掲示用) 震度5弱以上を観測する地震が発生した場合



南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）が発表された場合

南海トラフ地震臨時情報とは

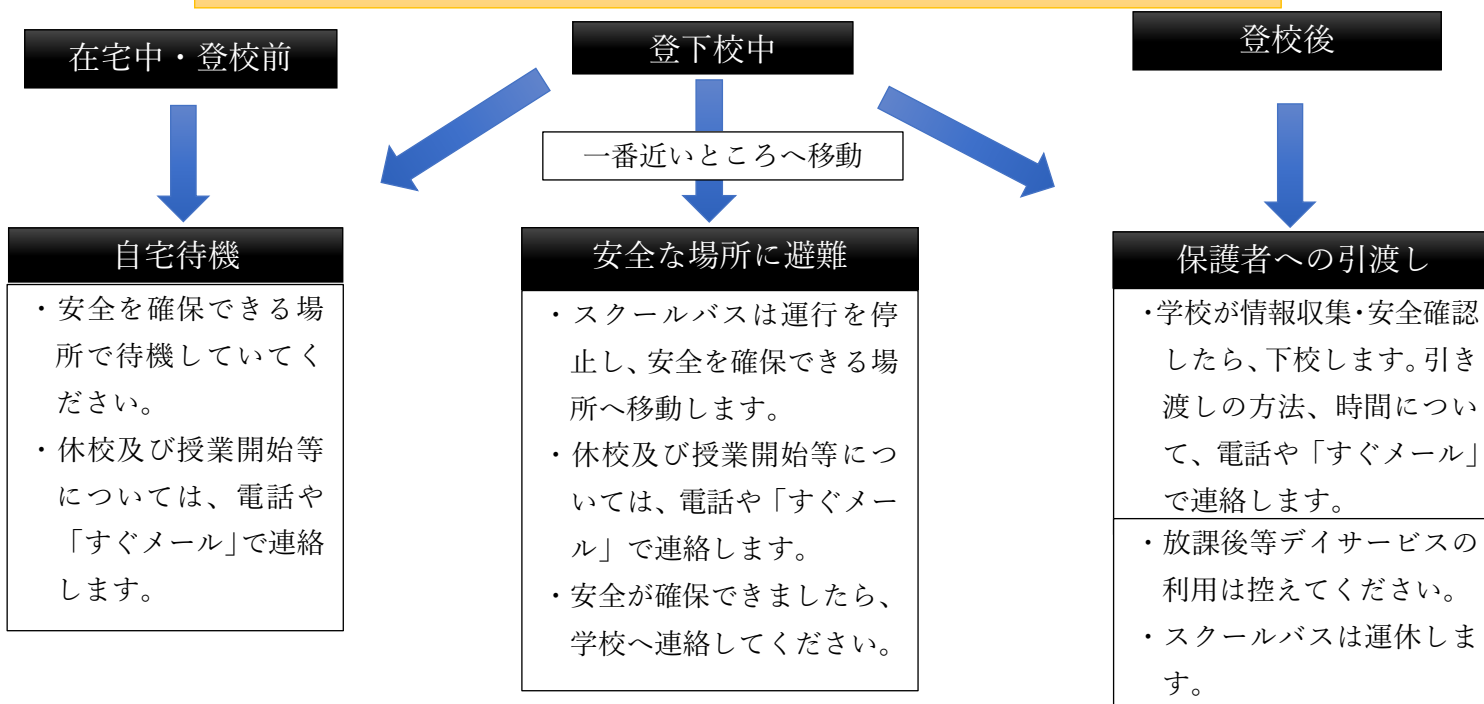
南海トラフ全域を対象に、大規模地震や地殻変動など異常な現象が観測された場合に気象庁から発表されます。例えば、南海トラフ沿いの西側で地震が発生し、東側でも地震が続発する（後発地震）可能性が高まった場合などに発表されます。

南海トラフ地震臨時情報（巨大地震警戒）（巨大地震注意）が発表された場合は、安全に配慮しながら通常授業としますが、被害状況等により休校とすることがあります。また、授業が行われる場合であっても、以下に該当する場合は登校を控えていただきます。

- ・ 自宅及び自宅の周辺の被害が著しい場合
- ・ 道路の陥没、土砂崩れ等により危険な場合
- ・ 自宅の耐震性が十分でない場合
- ・ 自宅が土砂災害特別警戒区域に立地している場合

※スクールバスは運休とします。

南海トラフ臨時情報が発表（休校になった場合）



学校の近隣の河川又は長良川に氾濫警戒情報や洪水警報が発表された場合

【学校周辺の状況について】

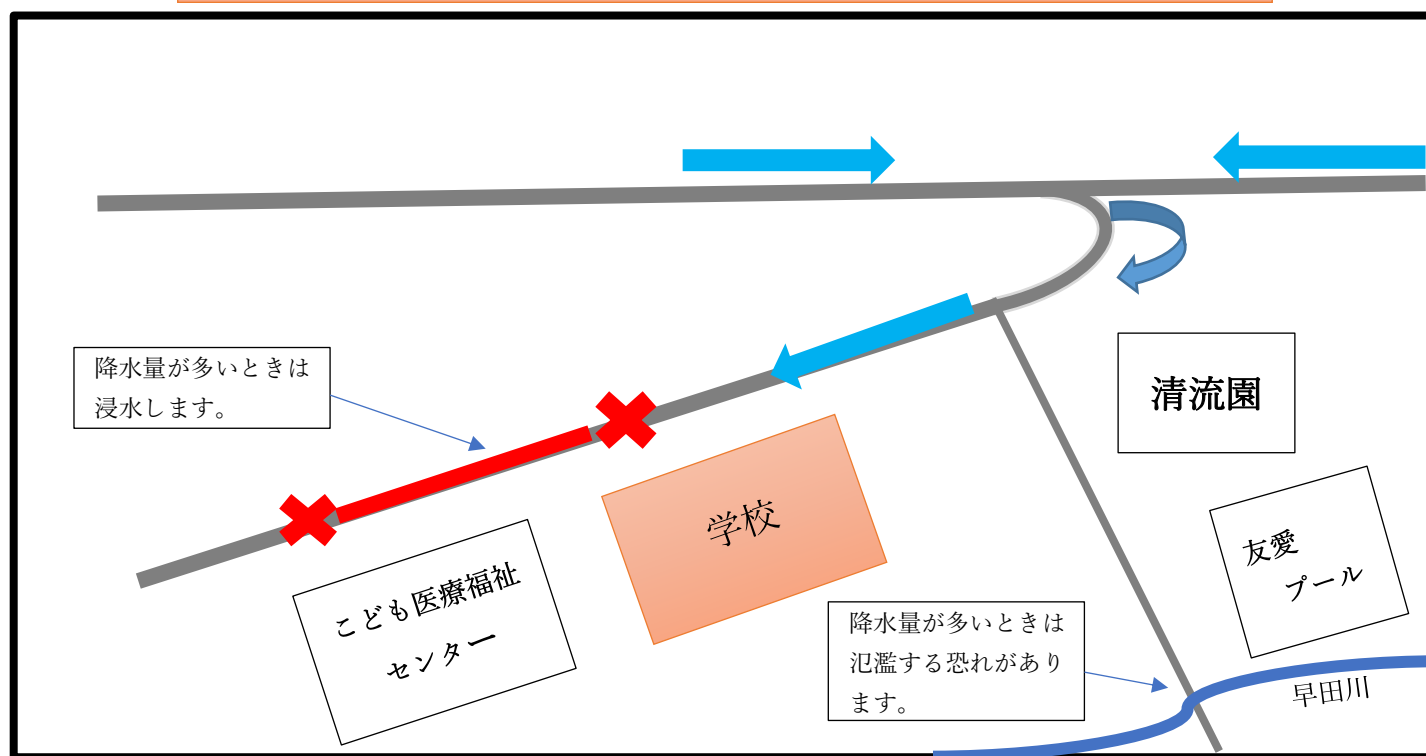
当校は浸水想定区域に立地しています。（※浸水想定 3.0m～5.0m）

長良川は大河であるため、氾濫までには相当の時間が見込まれることから、児童生徒在校時に浸水害にあう可能性は低いです。一方で、早田川は小河川であり、氾濫までの時間が短いため、氾濫・洪水注意報が発表された場合でも、休校や授業を中止し帰宅等の対応を行います。

※降水量が多く、注意報・警報等の発表が予想される場合は、学校からの連絡にご注意ください。

※学校北側の道路は降水量が多い時には、浸水する恐れがあります。電話や「すぐメール」等でお知らせします。その時は、北側道路を避け迎えに来てください。

学校北側道路が浸水した場合（→の道を通して学校向かってください）



NTT 災害伝言ダイヤルおよび NTT 災害伝言板（Web）について

NTT 災害伝言ダイヤルおよび NTT 災害伝言板（Web）は、被災エリアで利用できるサービスで、電話番号をキーとして、安否確認などの情報を音声および文字によって登録・確認できるサービスとして活用できます。

震度 6 弱以上の地震発生時等にテレビ、ラジオ等で NTT が「災害伝言ダイヤル」を設置したことや利用方法・伝達方法を各都道府県単位に知らされます。

NTT 伝言ダイヤル メッセージ再生方法

「171」にダイヤルする



ガイダンスが流れる



「2」をダイヤルする



学校の電話番号を市外局番からダイヤル
058-231-6500



メッセージが流れる

複数のメッセージを登録している場合 終了後、次のメッセージが流れる。

NTT 伝言板 Web171 の閲覧方法

<https://www.web171.jp> にアクセス



- ①学校の電話番号入力
「058-231-6500」
- ②確認をクリック



学校からのメッセージが表示される

【登録するメッセージの例】

「校内にいる児童生徒、職員は全員無事です。」

「授業を中止し、引き渡しによる下校を行います。学校へのお迎えをお願いします。」

「校外学習中の児童生徒の無事を確認しました。」 など・・・